【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成18年5月18日(2006.5.18)

【公表番号】特表2005-526992(P2005-526992A)
【公表日】平成17年9月8日(2005.9.8)
【年通号数】公開・登録公報2005-035
【出願番号】特願2004-507881(P2004-507881)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　5/30　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　5/30

【手続補正書】
【提出日】平成18年3月23日(2006.3.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
多層光学フィルムを含む多層光学フィルム体の断片を製造する方法であって、
多層光学フィルム体を提供することと、
前記多層光学フィルム体にレーザー放射線を照射して、前記多層光学フィルム体の第１の部分と第２の部分との間に延在する溶融ゾーンを形成することと、
前記第１のゾーンにおいて前記多層光学フィルム体を切断して、前記溶融ゾーンの近傍に端部を形成することと、
を含む方法。
【請求項２】
前記照射ステップの前に前記多層光学フィルム体に少なくとも第１のライナーが剥離自在に適用される請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記第１の部分中に切れ目線を画定する孔を形成することをさらに含む請求項１に記載の方法。
【請求項４】
前記照射ステップで複数の別個の溶融ゾーンが形成され、前記切断ステップで溶融ゾーンの組の間で前記多層光学フィルム体が切断される請求項１に記載の方法。
【請求項５】
前記多層光学フィルム体は、可視領域で反射性を有する請求項１に記載の方法。
【請求項６】
前記多層光学フィルム体は、近赤外領域中に反射帯域を、かつ可視領域で通過帯域を有する請求項１に記載の方法。
【請求項７】
前記レーザー放射線は赤外領域のものである請求項１に記載の方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】

【発明の名称】多層光学フィルム体の断片の製造方法